

四月から新入社員が入社し、新鮮さを感じながら指導している企業も多いと思います。今年の新入社員研修を見ても長引くコロナ禍の影響により、特にコミュニケーションの弊害が強く出ているように感じています。例えば直接的なコミュニケーションが減ったことで自分から積極的にコミュニケーションを取ろうとしない（受け身）、言つた言葉を表面的に捉える（相手の表情やニュアンスでは読み取れない）、情報は知っているが圧倒的に体験が少ない為なかなか腹落ちしない等：仕事を教える以前に、もつと社会人としての根本的なことから指導し、様々な経験をさせる必要があると感じます。指導をする方は今まで以上に、本人の特性や性格を見ながら状況を分析し、多方面からのアプローチが必要になってくるでしょう。

今は緩やかな人口減少により、人手不足からの採用難、せっかく採用した新入社員に対しても親身に、かつ手厚く指導をしている企業がほとんどだと思いません。しかし、「休みが取りやすい」「失敗がある程度許される」ようないわゆる大手の「働きやすい職場」でも若者の離職率が高まっているというニュースを見て、驚きました。労働環境は改善しているのに、不安を感じている若手社員は逆に増えています。その理由としては居心地は良いが他社では通用しなくなるのではないかということを知り、コロナ禍や世界情勢を反映した今ならではの、若手社員の職業観を改めて考えさせられました。また、当たり前のことではありますが、仕事の目的ややりがいを教え、成長させるために褒めたり時には叱ったりメリハリのある指導が今までも、そしてこれからも求められていると感じています。

代表取締役
高谷 愛美
ビジネス教育訓練所株式会社

日々是精進 講師の独り言

「コミュニケーションは心を豊かにする」

定例の新入社員教育4日間合宿も終わり、今年の新人研修も一段落つきました。今年も様々な新入社員の指導を担当させていただきましたが、改めてコミュニケーションの大切さを感じました。

ある団体で新人研修を担当させていただいた時のことです。参加する新人が休憩時間になるとスマホばかり見て先輩方と話そうとしないのでコミュニケーション力を上げて欲しいという要望がありました。そこで私は研修中はスマホを見るのを禁止し、周りの人と会話するよう指示しました。結果は初めて顔を合わせる人同士、お互いの出身地や食べ物の好み、趣味

等について話しており、研修後の感想では、知らない人と色々話せて楽しかったという意見が例年以上に聞かれました。

又、先日行われた合宿では、大人しい参加者が多く、昼食時間も黙々と食べていました。食後もマスクをして無言でいるため、一人の参加者に話し掛けると会話に応じ楽しそうに話してくれました。そして、その様子を見て他の参加者が次々と周りの人と話し出しました。日を追うごとに研修は厳しさを増しましたが、参加者同士コミュニケーションが取れていたことで互いに声掛けし、励まし合い支え合うことが出来ました。コ

講師
吉田 習二



閃光
BUSINESS KYOIKU KUNRENJO PUBLIC PAPER
発行元
ビジネス教育訓練所株式会社
令和四年 水無月号
Business

「ホワイト企業でも若者の離職率が増えている？」



6月の花嫁は幸せになれる?! ジューンブライドの由来

ジメジメとした梅雨の時期、あえてこの6月に結婚したいという人が多くいます。その理由は、ヨーロッパの古くからの伝承「ジューンブライド」という言葉があり、6月に結婚をすると生涯幸せな結婚生活を送るとされているからです。今回はその6月の花嫁、ジューンブライドについて紹介します。

○ジューンブライドの由来

有力とされる3つの説

①ローマ神話の女神ユノ

女神ユノはローマ神話の主神ユピテルの妻で結婚・出産・育児の象徴であり、女性・子供・家庭を守る神とされています。さらに、ユノはアルファベットで「Juno」と書き、英語の6月を表す「June」の元になっています。

②ヨーロッパは6月が結婚に最適
ヨーロッパでは6月に乾季に入る国が多く、雨が減り各地で祭事も行われることから、ヨーロッパ全体が開放的なムードになります。天気・気候ともに申し分なく、多くの人に祝福されることから、6月に結婚式を挙げると幸せになれるという説が生まれました。

③農作業が忙しい時期を避けた

昔のヨーロッパの3月・4月・5月は農繁期であったため結婚式が禁止されていました。そのため、結婚が解禁される6月に挙式が集中したと言われています。その結果、1年を通して6月が最も結婚式が多い季節となり、ジューンブライドの伝承が生まれたという説があります。

○日本で広まった理由

日本は6月は雨が多くジメジメしていること等から、以前は結婚式を行なう人が少なかったそうです。そこで、ホテル業界やブライダル業界がこの6月のイメージを変えるために、1960年代後半からジューンブライドのアピールを始め浸透してきました。日本におけるジューンブライドは閑散期の6月を何とかしたいというホテル業界・ブライダル業界の戦略だったということです。結婚は人生のハイライトであり、駆を担ぐ日本人だからこそ、その戦略が上手くはまったのかもしれません。例え逆境であっても、発想の転換でチャンスを作ることが出来ると気づかせてくれるエピソードです。

オススメ図書コーナー

『ムードエレベーター

感情コントロールの新常識

著 ラリー・セン

ムードエレベーターとは、世界で100万人以上が学ぶ悪い出来事に振り回されないための思考法です。人は希望に満ち、感謝の気持ちを持っている時は、良い判断が出来ますが、ストレスや不安を感じていると、誤った判断をしてしまうことがあります。常に良い判断をするためには、自分の心の状態を良好に保つことが重要です。本書には自分の心の状態を良好に保ち良い判断をするための思考法が書かれています。ネガティブな感情に振り回されて、誤った判断をしてしまうという人にオススメの1冊です。

Business
社員教育・管理者教育の事なら
ビジネス教育訓練所株式会社
所在地：仙台市青葉区愛子中央3-16-2
電話：022-392-5511
E-mail : kensyu@business-k.co.jp

研修プログラム紹介コーナー

○お客様のニーズを引き出す「SPIN話法」

出来る営業パーソンは聞き上手と言われますが、本当の聞き上手とは、お客様の話を聞くだけでなく、お客様に的確に質問し真のニーズを引き出し、提案できる人です。

その代表的な質問法が、全世界的に使用されているSPIN話法です。考案者はイギリスの行動心理学者のニール・ラッカム氏。SPIN話法が出来ることで、お客様自身も気付いていない深いニーズを引き出すことができます。

※営業マン特訓コースのプログラムです。

■編集後記／筋トレを始めて1年が経ちました。『筋トレが最強のソリューションである』という本に出会い、筋トレで問題が解決するなら安い物だと思って始めたのがきっかけでした。やってみての感想は、想像以上に満足する結果が得られました。しかし、最近は筋肉の成長が感じられずやや停滞気味です。大事なのは結果が出ない時に如何に過ごすか。改めて目的や目標を設定し取り組んでまいります。（吉田）

